

平成 25 年度 ハッピードワン II 第 2 回運営推進会議

平成 25 年 6 月 18 日

記録 石井

参加者	ゆうりん II 施設長	吉田様
	七飯消防署	村田様
	福祉課福祉施設係課長	阿部様
	緑町 町内会長	首藤様
	町内副会長	松木様
	緑町ご家族様代表	岡様 小澤様
	ケアプランセンターしゃきょう	氷見様
	鶴野小学校 校長	鈴木様
	銀会 代表	田中様
	スタッフ	中村・吉田・石井

吉田 : 今日皆様お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。それでは第 2 回目の運営推進会議を始めたいと思いますので、皆様よろしくお願ひします。まずは議題に入る前に、皆様一人一人の自己紹介からお願いします。

一人ひとりの自己紹介

吉田 : それではまず始めに消防の方から、防火に関するビデオを今回お持ちしていただいたので、そちらを見て頂きたいと思います。

村田様 : 今回は火災に関する対策として一般向けの内容となってしまいますが、施設などにも共通する部分が出て来るのではないかと思いますので、まずはビデオから見ていきましょう。一応内容の方は一般家庭における火災予防対策ということになります。だいたい 20 分くらいになると思います。

ビデオ視聴 (火災予防対策について)

吉田 : それでは消防さんの方から今のビデオを見て予防についての話をお聞きしたいと思います。

村田様 : 今ご覧いただいたのは一般家庭における火災の予防対策についての内容になっておりますが、放火は建物火災の第一位になっております。火災警報機は条例で設置するように定められているので、まだ設置されていない方は是非取り付けていただきたいと思います。

吉田 : 今の消防さんからの話の中で何か聞いてみたい事とかありましたらご意見いただきたいと思います。

中村 : 緑町は高齢化が進んでいますよね。火災報知器の設置は義務付けられていますが、実際取り付けていますか。時々訪問に伺ってみると付いてないですね。付けなければいけないという義務付けになったのはたしか去年からですよ。

首藤様：緑町町内会全体で取り付けている家・取り付けていない家というのを調査した事はないです。

中村：付いていない家が多いと思います。例えば70代、80代の一人暮らしの方に条例で火災報知器の設置が義務付けられましたと言ってもピーンとこないと思います。実際皆さん取り付けていますか。

田中様：私も昨年取り付けました。消防さんからいただいたチラシを見たら、取り付ける箇所として寝室もしくは2階にあがる階段の壁で、台所が入っていませんでした。

村田様：台所は、そもそもの主旨が寝ている時の逃げ遅れをなくする為で寝室という事、もしくは寝室が2階にあった時に2階に上がる階段室という事になってます。ただ、その他に自分で気になる方は台所に設置している方もおります。

田中様：あと壁から50cm以上離すという事にもなっていますよね。ただ、家の2階の廊下は壁と壁との間が50cmも離れていないので、仕方なく真ん中に取り付けてます。

中村：でも台所に付けるのが義務付けられていないというのは勉強になりました。校長先生はお話を聞いてどう思いましたか。

鈴木様：うちも取り付けてます。消防の方は回ってこなかったです。

村田様：七飯町ではランダムで調査はさせていただいています。地域の消防団の方が個別でお願いしますと訪問はしています。

鈴木様：学校の子供達には普段からお話はしています。子供達から親御さんに啓発してもらうようにしています。

松木様：うちは1階、2階に一つずつ付けてます。先ほどの町内でどこと、どこと、どこが付いてないかっていう所ですが、消防もそんなそんな人がいるわけでもないし、付けているか上がって見るわけにもいかないですよ。ただ、付けてない事で罰則とかはないんですか。

村田様：罰則は特にないです。付けてくださいという広報活動は行っていますが、実際に消防の方で取り付ける作業までは行っていません。

阿部様：うちは取り付けるのは電気屋さんに頼みますね。取り付けるのはどこでも付けれますけど、電池代ですよ。何年かしたら交換しないといけませんよね。

村田様：どの報知器も10年は保つように設計されています。

首藤様：緑町の会館も防火点検に業者が入ったんですが、報知器はその業者に付けてもらいました。

中村：氷見さんのところはどうか。

氷見様：うちも取り付けました。アパートなので大家さんの方で付けてくれました。訪問に行くとなんか一人暮らしだったり、老夫婦のお宅は実際付いていないお宅はありますね。制度自体を知らないという事が多いですね。

首藤様：今日見たビデオは消防の方に何枚かあるんですか。

村田様：一枚だけしかないですね。

首藤様：コピーとかは出来ないですか。

中村：たぶんロックかかっているから出来ないと思います。

首藤様：もし何枚かあれば町内会の方でも見たいと思ったので。

村田様：一枚しかないですけど、お貸しする事は出来ますよ。

中村：町内会の方でも、集まった時にこういうビデオ見てもらうのも良いですよ。

吉田施設長：今日ゆうりんⅡの方で避難訓練を実施して、消火器訓練も行いました。やはり中には消火器の使い方がある程度は出来ているんですが、ちゃんとしたやり方がわからなかったりがありました。

中村：実際になると消火器は使えないです。料理は出来ないんですけど、料理の本を見ながら天ぷらを作ろうと思ったんです。材料も本に書いてある通りに全部集めて、やってたんですけど、かき揚げ作る時に油がバチバチ跳ねてきて、イカを入れたら火噴いてしまったんです。なんとかしようと思って消火器持ってきたけど、使えなくて、誰かがマヨネーズを入れたら良いつて言ってたのを思い出して、大きい業務用のマヨネーズを油の中に入れたら消えたんですよ。

村田様：それは運が良かったんだと思います。鍋は小さかったんですか。

中村：小さかったです。

村田様：以前にマヨネーズで火が消えるとテレビで一時期放送された事があるんです。でもマヨネーズは危険です。小さい鍋に業務用の大きいマヨネーズを入れて偶然が重なって鎮火しただけだと思います。

田中様：今ってスプレー式の消火器ってありますよね。あれはどうなんですか。

村田様：スプレー式の消火器は非常に有効です。スプレーと言う事で誰もがすぐに使える利点がありますが、火力が弱いという欠点があります。

吉田：それでは次に緊急連絡網の見直しと言うことで、正直なところでスタッフの人事異動などがあり見直しをその都度かけていくと、かなりの回数で見直しをしていかなければならないので、今回はその中で一番新しい6月17日で作成した緊急連絡網を用意しました。ただし、個人情報もあり名前は全てイニシャルにさせてもらっていますが、それでも携帯電話連絡がほとんどの為、会議終了後回収させていただきます。ただ、この連絡網はあくまでグループホーム・デイサービス・ショートステイの三事業所を土台に作っております。さらにこの中から、もしホーム等で何かあった場合には、ホーム近くのスタッフ緊急連絡網の作成が必要となってくるので、今後作成する予定であります。また、先月ゆうりんⅡの運営推進会議に出席させていただき、その中で同じ町内会として、緑町は高齢化が進んでいるので何かあった時には若いスタッフのいるゆうりんⅡとハッピードウナンⅡで協力しようということになり、連絡網の交換と共に今後は4名で委員会を立ち上げ、方向性を話し合っていく予定です。

吉田施設長：秋の防災訓練はハッピードウナンⅡさんと一緒に行う予定でいます。

中村 : これは異常時・緊急時連絡網になっていますが、近場のスタッフ順になっていないければ、ただの連絡網に過ぎません。鶴野小学校さんや社協さんでも緊急連絡網は作成しているんですか。

鈴木様 : はい。もちろん、うちは作っています。

氷見様 : うちでは連絡網の他に近場順の連絡網も作っております。

中村 : 現在の連絡網ではただの連絡網に過ぎないので、今日何があるかわからないので今日すぐに緊急連絡網を作ったほうが良い。他に防災チェックシートについては資料は用意していますか。

吉田 : それではお手もとの防災チェックシートを見てもらいながら説明したいと思います。ハッピードワンIIでは勤務体制を決め、早番の出勤時と遅番の退勤時の2回項目に沿ってチェック・記入する形式を取っております。恥ずかしい話ですが、今まではチェックをしないで、丸を付けチェックシートの意味を成していませんでした。この件に関しては社長からも指摘を受け、防災管理者が1ヶ月に1回チェックシートを確認するようにしました。その他にもミーティングの時には防災管理者から、その件についての報告をもらい、他に非常口・消火器の整備・確認・確保、避難経路の確認、消火器の取り扱い方などについて短い時間のなかでスタッフと話し合うようにしています。

中村 : このシートは東日本大震災をもとに作られた物で、チェック項目が事細かに書かれていたにも関わらず、簡略化され過ぎている。例えば、パソコンやテレビの裏、コンセントの差込口など事業所を回っていると汚れているのに目立ちます。

松木様 : 何でも壁にびったりくっついているので、掃除するとなるとなかなか大変です。

吉田 : グループホームは全て空間を取りながら設置されているにも関わらず、そういうところの掃除は行き届いていないので、チェックシートの項目を他の事業所とももう1回擦り合わせて検討していきます。それでは、防災ガイドブックの資料についての説明をお願いします。

中村 : お手もとの資料を見てわかるように、あなたの事業所はどんな所にあつて、災害に向けてどんな準備をしていて、災害時にはどのように動けるのか、災害の準備をするためのガイドブックで全国グループホーム団体連合会で作られた物です。この会が始まる前に氷見さんの方にも資料についてお話をし、七飯町のグループホームを対象に例えば花かぞくさん、ひだまりの家さん、あずましの里さんなどにお声を掛けながらグループワークをやっていきたいと思っている事をお話しました。防災ガイドブックはワーク1からワーク9までであるので、シートを埋めながら第3回からの運営推進会議はこの資料をもとに、自分の事業所の事をよく知り、他の事業所さんの事も知るために、他の事業所さんがどんな所にあつて、災害に向けての準備や災害時にはどのように動くのか、防災ガイドブックを使って、みんなで災害の準備をし、協力体制を作っていけたらと思いますのでよろしくをお願いします。